

平成 28 年度（第 4 回）福岡うぐいす基金 失語症者社会参加活動助成金募集要項

□趣旨説明

福岡うぐいす基金失語症者社会活動助成金は、失語症の方々の社会参加を促進するための活動に対して助成するものです。この基金は、過去に開催された「全国失語症友の会福岡大会」(平成 10 年 10 月)のために集められた資金の残金であり、適切に使用されるよう基金の運営委員を組織しお預かりしています。「友の会」など失語症の方やご家族が集える場の普及に繋がるよう、これまで、福岡県失語症友の会の運営、失語症大会の視察、福岡県内で失語症に対応できる病院を記載した冊子「仲間っていいな」の制作費、全国大会から 10 年の節目につくった記念誌の制作費、福岡県言語聴覚士会 10 周年記念との共催で行われた講演会運営費などに使用されてきました。

しかし、まだ「福岡うぐいす基金」の活用範囲が広がっているとはいえません。そこでこのたび、地域で暮らす失語症の方々やご家族が安心して集える小さな場があちこちに誕生し継続した運営がなされることを願い、平成 25 年度より活動助成金を設定し、福岡県内で活用を呼びかけることにいたしました。失語症の方々が豊かなコミュニケーション生活を支える場作りに意欲のある団体のご申請をお待ちしております。既に着手している場合も、これからはじめようとする場合でも申請できます。皆様の申請をお待ちしております。

福岡うぐいす基金 代表 山下省三

申請先:

〒805-0056 北九州市八幡東区帆柱 4 丁目 11-3
田中 愛啓



□助成対象となる活動

I. 失語症の方々が、年間を通じて、定期的に原則同じ場所に集う活動の運営費用

(※特に活動の起ち上げ時に要する費用)

例) 月 1 回〇〇公民館をかりて、失語症の方と一緒におこなう「言語教室」

例) 毎月第〇、〇曜日、失語症の〇〇さんの家に集まり、歌やおしゃべりを
楽しむような「失語症リハビリサロン」

II. 定例的な活動以外に企画された特別な活動は、随時申請があれば検討します。

例) 失語症の理解促進を図る講演会等

例) 失語症の当事者やご家族が体験を語る集い等

□1 回の申請に対して助成される額: I 型—上限 50,000 円、II 型—原則上限 50,000 円

但し、II 型は、申請内容によっては、助成金額を検討します。

□同一団体への連続助成は、原則 3 年間までとします。

□募集期間 平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日 (当日消印有効)

□助成金の決定および、採否通知: 基金の委員会で審査した後、採否を決定。採否通知は 募集期間最終日より 2 ヶ月以内に郵送で通知します。

□助成金の精算: 再度助成申請の場合のみに前回分精算報告の提出をしてください。

領収書は申請者が 3 年保存して下さい。

□活動報告: 助成金の使用と活動について年度末までにご報告下さい。

様式 1



平成 28 年度
うぐいす基金 失語症者社会参加活動助成金申請書

受付番号

結果

申請日 平成 年 月 日

1. 申請団体

申請団体	代表者名		連絡責任者		
	(郵便物が確実に届くご住所をご記入下さい)				
	住 所 〒				
	設立	年	月	メンバー数	失語症者 (約 名)
					家族 (約 名)
					ボランティア・支援者(約 名)
TEL	()		FAX	()	
E-Mail	@				

2. 申請事業の概要

分類	当てはまる方にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 失語症者が定期的に集まる場の運営 <input type="checkbox"/> 上記以外の失語症者の社会参加促進活動		
活動の呼び名 (例「失語症サロンうぐいす」)			
実施期間	年 月 ～ 月	参加予定数	約 名
(1) 申請理由(この活動が、失語症者の社会参加を促進すると考えられる理由を説明してください。)			

(2) 申請事業の内容（いつ、どこで、誰が、誰に対して、何をどのようにするかを具体的に説明してください。）

年間予算案

収入

項目	金額	
うぐいす助成金申請額	円	
申請活動に関する会費・参加費	円	
その他(具体的に)	円	
収入合計	円	……①

支出

項目	金額	単価や回数
教材費	円	
会の運営費	円	
講師謝金	円	
会場費	円	
その他(具体的に)	円	
その他(具体的に)	円	
その他(具体的に)	円	
支出合計	円	……②

※ 収入合計額①と支出合計額②は同額としてください。

助成申請額（上限 5 万円）

円